

**USER'S
MANUAL**

4ポート ブロードバンドルータ

BRL-04A

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

4ポート ブロードバンドルータ

BRL-04A

本製品を安全にお使いいただくために

警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



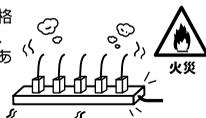
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



液体・異物はいれないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



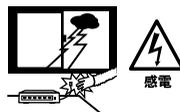
設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所

雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードをつけて移動しないで！

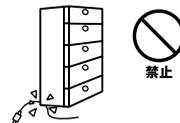
本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。



このマニュアルの構成

本マニュアルは4ポート・ブロードバンドルーター bRoad Lanner BRL-04Aの概要および使用方法について説明します。本マニュアルの構成は以下のようになっています。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 ハードウェアの接続

本製品ハードウェアのADSL/ケーブルモデムおよびLANとの接続方法について説明します。必ずお読みください。

第3章 Webブラウザを使った設定方法

本製品を使ってもっとも簡単にインターネットに接続する方法について説明します。

第4章 詳細設定

本製品のDHCPサーバ機能やローカルサーバ機能等のより詳しい機能の設定の方法について説明します。

第5章 その他

本製品の通信状況等を参照する方法や、設定の初期化などについて説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B ファームウェアのアップデート

本製品のファームウェアのアップデート方法について説明します。

付録C デフォルト設定の復帰

本製品を工場出荷時のデフォルト設定に戻す方法について説明します。

付録D デフォルト設定

本製品の工場出荷時のデフォルト設定について説明します。

付録E telnet設定

本製品をtelnetを使用して設定する場合の設定メニューについて説明します。

付録F 仕様

本製品の製品仕様です。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
-------------------	---

第1章 はじめに

1.概要	7
2.特長	8
3.梱包内容の確認	8
4.各部の名称	9
5.対応機器	12

第2章 ハードウェアの接続

1.ADSL/ケーブルモデムとの接続 (WAN側ポート)	13
2.ネットワークとの接続 (LAN側ポート)	14
3.電源の接続	14
4.接続の確認	15
5.本製品のリセット手順	16
6.電源投入時の自己診断テストについて	16

第3章 Webブラウザを使った設定方法 (簡易インターネット接続設定)

1.コンピュータの設定	17
2.WWWブラウザからのアクセス	21
3.簡単インターネット設定	22
4.通常のPPPoE接続	23
5.CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス	27
6.PPPoE複数IPアドレス LAN型接続	31

第4章 詳細設定

1.ローカルネットワーク設定	41
2.アドバンスド設定	43
3.WANポート設定	45
4.PPPoEの診断	50
5.DHCPサーバ	51
6.ローカルサーバ	54
7.バーチャルコンピュータ	56
8.ルーティング	58
9.IPフィルタリング	59
10.管理者パスワード	61

第5章 その他の機能

1.トラフィックモニタ	63
2.アクセス状況	65
3.デフォルト設定の読込	66
4.設定の保存と再起動	66
付属A トラブルシューティング	67
付属B ファームウェアのアップデート	69
付属C デフォルト設定の復帰	73
付属D デフォルト設定	75
付属E Telnet設定	77
付属F 仕様	79

はじめに

1 概要

本製品は、ADSLおよびCATV(ケーブルTV)接続を使用したインターネット接続に対応したブロードバンドルータです。PPPoE接続にも対応しており、NTT東西のフレッツADSLでもご利用できます。NAPT(Network Address Port Translation : ネットワークアドレスポート変換)機能により、1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有し、同時にインターネットにアクセスすることが可能です。本製品はWEBブラウザまたはtelnetにより、簡単にセットアップすることが可能です。

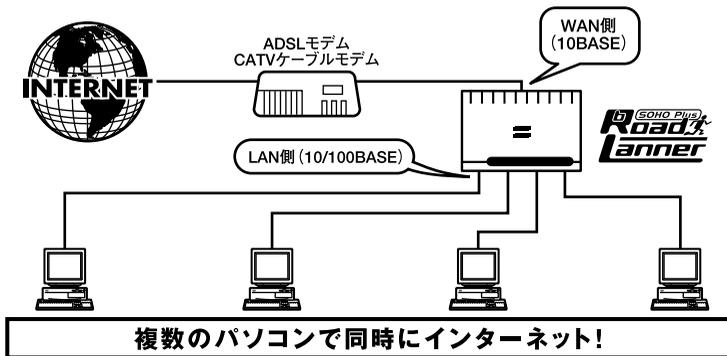


図1-1 bRoad Lanner接続図



注意

プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合があります。プロバイダとのご契約内容についてご確認ください。

2 特長

NAPT機能により1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有可能

WAN側に10M RJ-45 STPポートを1ポート装備

LAN側に100M/10M自動認識に対応した4ポートスイッチングハブを内蔵

WAN側ポートはDHCPクライアントに対応

LAN側ポートはDHCPサーバに対応(最大253クライアント)

ローカルサーバ機能およびバーチャルコンピュータ機能により、ローカルネットワーク上のコンピュータにインターネットからアクセス可能

フィルタ機能を装備、IPアドレス、ポート番号によるアクセス制限が可能

WAN側の接続方法として通常の接続のほかにPPPoE接続

ADSLによる複数のグローバルIP接続サービスにも対応

マルチNAT対応により、PPPoE複数IPアドレスLAN型接続に対応

ARMプロセッサによる高速ルーティング

WEBブラウザまたはtelnetから設定可能

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

bRoad Lanner(BRL-04A)本体

ACアダプタ

ストレートタイプLANケーブル(1m) 1本

ショートケーブル 1本

ユーザズマニュアル

保証書

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

本体上面

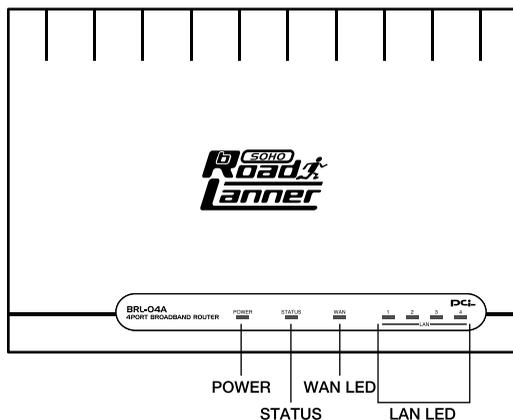


図1-2 BRL-04A本体上面

「POWER LED」

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。

「STATUS LED」

本製品がデータの送受信中に点滅します。

「WAN LED」

WAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。また、ポートがデータの送受信中は点滅します。

「LAN LED」

LAN側ポートが100Mでリンクが確立すると、緑色に点灯します。10Mでリンクが確立すると、オレンジ色に点灯します。また、ポートがデータの送受信中は点滅します。

本体背面

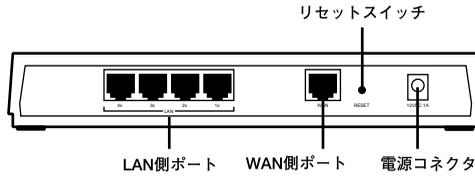


図1-3 BRL-04A本体背面

「LAN側ポート」

本製品をLANと接続するためのRJ-45 LANポートです。

「WAN側ポート」

本製品をADSLモデムまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 LANポートです。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合に使用します。本製品を再起動する場合はリセットスイッチを1秒間程度(STATUS LEDが点滅を始めるまで)押してください。

本体裏面

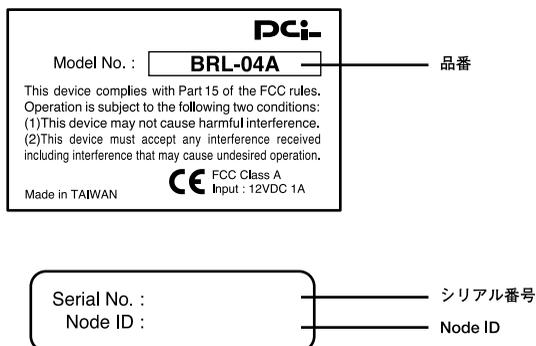


図1-4 BRL-04A本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

「Node ID」

本製品のMACアドレス（物理アドレス）です。プロバイダによってはADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

5 対応機器

コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

- ・ Windows 95/98/Me/NT/2000を搭載し、RJ-45 LANポートを装備したコンピュータ
- ・ TCP/IPが利用可能なOS(Mac OS、各種UNIX等)を搭載し、RJ-45 LANポートを装備したコンピュータ

ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

- ・ LANケーブル

ADSL/ケーブルモデム

本製品は、以下のいずれかのADSL/ケーブルモデムに対応しています。

- ・ RJ-45 LANポートを装備した外付ADSLモデム
- ・ RJ-45 LANポートを装備した外付ケーブルモデム

ハードウェアの接続

本

章では、本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータとの接続手順について説明します。

1 ADSL/ケーブルモデムとの接続（WAN側ポート）

1. ADSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。
2. 本製品付属のLAN用ストレートケーブルもしくは、市販のストレートタイプのLANケーブルで、本製品背面のWAN側ポートとADSL/ケーブルモデムのRJ-45 LANポートを接続してください。

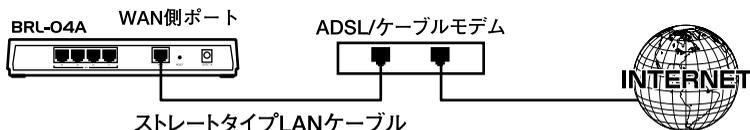


図2-1 ADSL/ケーブルモデムとの接続



注意

ADSL/ケーブルモデムの種類によっては、本製品と接続する際にストレートタイプのLANケーブルでなく、クロスタイプのLANケーブルを必要とするものもあります。ADSL/ケーブルモデム側のRJ-45ポートがMDI-Xの場合はストレートタイプのLANケーブルを、MDIの場合はクロスタイプのLANケーブルをご利用ください。詳細については、お手持ちのADSL/ケーブルモデムのマニュアルを参照してください。

2 ネットワークとの接続（LAN側ポート）

1. ストレートタイプのLANケーブルの一端を本製品のいずれかのLAN側ポートに接続してください。
2. LANケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45 LANポートに接続してください。

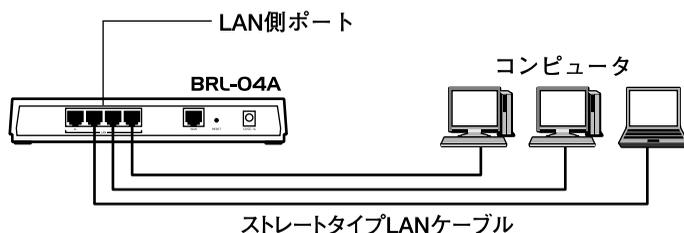


図2-2 ネットワークとの接続

3 電源の接続

1. 付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続してください。
2. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。コンセントに直接、ACアダプタを接続できない場合は付属のショートケーブルをご使用ください。
3. ADSL/ケーブルモデムの電源を入れてください。
4. コンピュータの電源を入れてください。

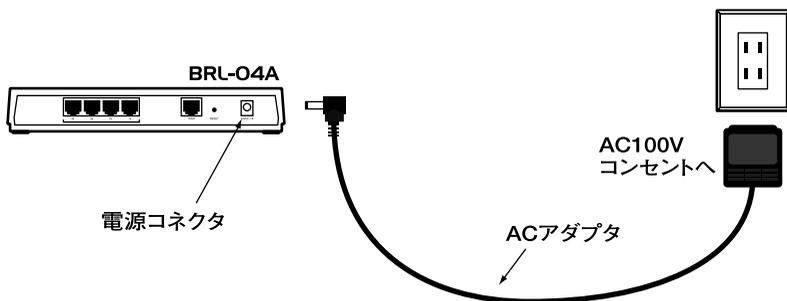


図2-4 電源の接続

**注意**

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

4**接続の確認**

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品のPower LEDとWAN LEDおよびLAN LEDが点灯します。

これらのLEDが点灯しない場合は以下の点についてご確認ください。

Power LED

本製品付属のACアダプタを使用していますか？

ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？

ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

WAN LED

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

LANケーブルの種類（ストレートまたはクロス）は合っていますか？

LAN LED

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびコンピュータのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

コンピュータの電源は入っていますか？

LANケーブルの種類（ストレートまたはクロス）は合っていますか？

5 本製品のリセット手順

本製品背面にはリセットスイッチが装備されています。何らかの理由で本製品のリセットを行いたい場合は、以下の手順でリセットを行ってください。

1. 本製品に電源が入っていることを確認し、リセットスイッチを約1秒間（STATUS LEDが点滅を開始するまで）押してください。
2. 本製品がリセットされ、再起動します。
3. 本製品上面のStatus LEDが5回点滅します。



注意

リセットをしても、本製品に保存されている設定は初期化されません。本製品の設定を工場出荷時の状態に初期化したい場合は、「付録C. デフォルト設定の復帰」を参照してください。

6 電源投入時の自己診断テストについて

本製品は電源投入時、自動的に自己診断テストを実行します。本製品が正常に起動すると、製品上面のSTATUS LEDが6回点滅します。このLEDが6回点滅しない場合は、本製品の故障が考えられます。弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

Webブラウザを使った設定方法 (簡易インターネット接続設定)

本

章では本製品の簡易インターネット接続設定手順について説明します。簡易インターネット接続設定では、必要最小限の設定のみで、本製品を経由したインターネットへのアクセスを行えるようにします。

簡易インターネット接続設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を済ませておいてください。本製品のより詳細な設定を行う場合は、第4章「アドバンスド設定」を参照してください。

1 コンピュータの設定

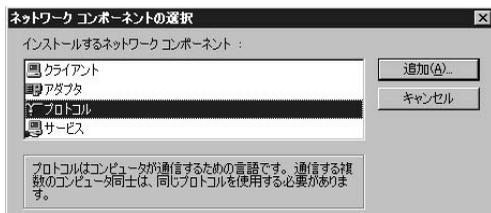
Windows 95/98/Me

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのインストールを行ってください。

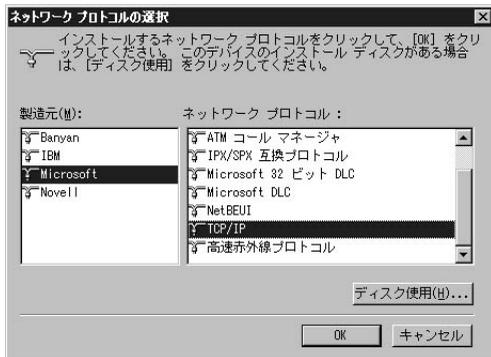
2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。



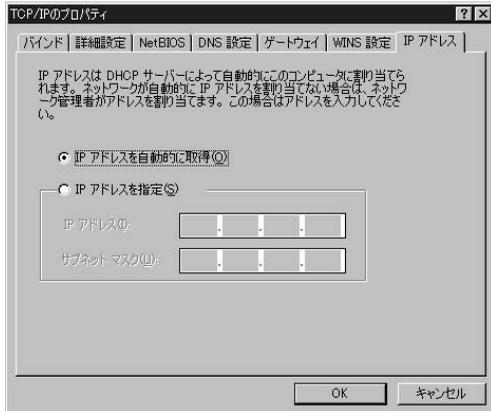
3. インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



4. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。

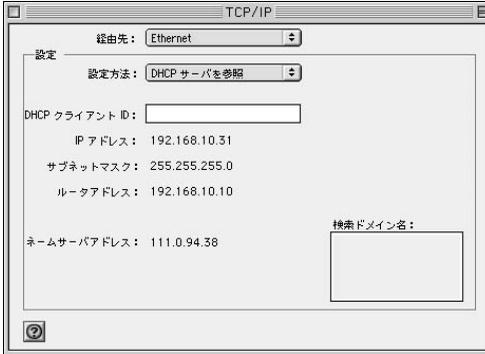


5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得」オプションを選択し、コンピュータを再起動してください。



Macintosh

1. アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。
2. TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」に設定してください。



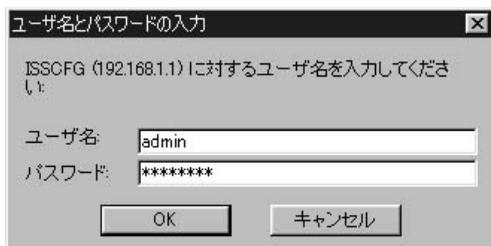
3. TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動してください。

その他のコンピュータまたはOS

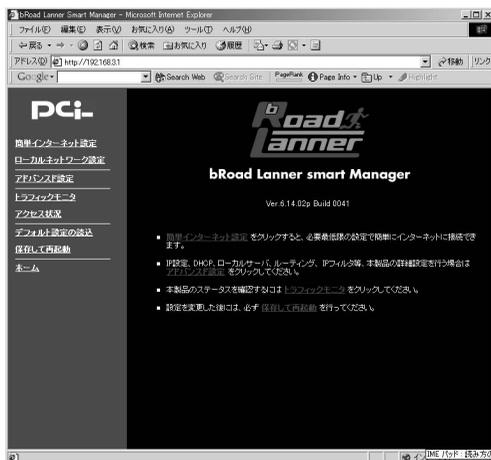
ご利用のコンピュータまたはOSのマニュアル及びドキュメントを参照にして、ネットワークプロトコルをTCP/IPに設定してください。IPアドレスはDHCPサーバから取得する設定にしてください。

2 WWWブラウザからのアクセス

1. コンピュータが起動したら、WWWブラウザを起動してください。
2. WWWブラウザのURLを入力する欄（Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」）に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。
3. 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。デフォルトの管理ユーザー名「admin」と、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



4. 本製品のメイン・セットアップメニューが表示されます。



3



注意

WEB設定画面が表示されない場合は以下の項目を確認してください。

コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか？
コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。

コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得(DHCPを使用)する設定にしてください。

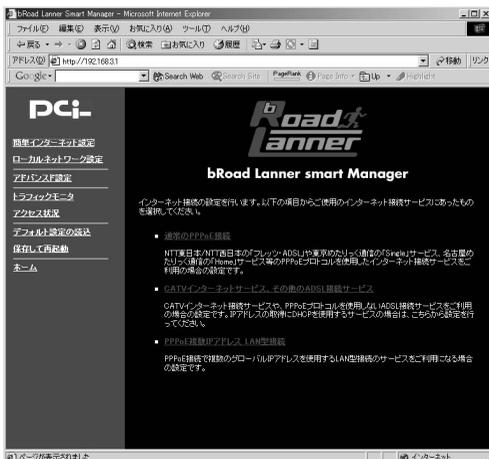
使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示(ツール)」、「インターネットオプション」、「接続」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。

お使いのコンピュータがIPアドレスを取得できていない可能性があります。

WindowsではDOSプロンプトから、ipconfig コマンドを実行するとIPアドレスが表示されます。Macintoshではアップルメニューから「コントロールパネル」、「TCP/IP」を開いて、IPアドレスの欄にIPが割り振られているか確認してください。コンピュータがIPアドレスを取得できていない場合は、コンピュータを再起動してください。(デフォルト設定時は 192.168.1.xxx がIPアドレスとして割り当てられます。)

3 簡単インターネット設定

1. WWWブラウザで設定画面を開きます。
2. [メインメニュー] またはWWW ブラウザの画面左側から、[簡単インターネット接続設定]の文字をクリックします。
メインメニューに[簡単インターネット接続設定]ページが表示されます。



3. ご利用のインターネット接続サービスのタイプを選択します。

メインメニューに3つの選択肢が表示されます。ご利用のインターネット接続サービスを選択してください。

通常のPPPoE接続

NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「Single」サービス、名古屋めたりっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインターネット接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。

CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス

CATVインターネット接続サービスや、PPPoEプロトコルを使用しないADSL接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。また、IPアドレスの取得にDHCPを使用するサービスの場合は、こちらから設定を行ってください。

PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

PPPoE接続で複数のグローバルIPアドレスを使用するLAN型接続のサービスをご利用になる場合こちらを選択してください。

4 通常のPPPoE接続

[通常のPPPoE接続] では、PPPoE 方式を採用したADSL インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。



注意

PPPoE接続ではないADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]から設定を行ってください。
また、複数の固定グローバルIP アドレスが割り当てられるPPPoE インターネット接続サービスの場合は、[PPPoE複数IPアドレス LAN型接続]から設定を行ってください。

1. メインメニューの[簡単インターネット接続設定]ページから [通常の PPPoE 接続] を選択します。 [通常の PPPoE 接続] ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。



ログインユーザ名

プロバイダから指定された PPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は“ @ ”(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例：pci011@planexbri.ne.jp



注意

最大64文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても "*"（アスタリスク）表示されます。（工場出荷時の状態では「password」に設定されています。）

例：rY0Co%Mtu



注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoE サービス名を、正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。（工場出荷時の状態では空欄に設定されています。）

例：PPPServ



注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

パソコン上でWWW ブラウザを起動した場合など、LAN 側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）



注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定] - [PPPoE接続の診断] ページで手動接続しなければなりません。

自動切断

PPPoE でインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的にPPPoE 接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。「0 ~ 120」の範囲で指定できます。自動切断したくない場合は、この欄に「0」を入力してください。（工場出荷時の状態では「5」に設定されています。）

例：3

IPアドレスネゴシエーション

IPアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IPアドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「ルータIPアドレス」も設定してください。
(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

ルータIPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：153.16.10.40

DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得する場合は「有効」、DNSサーバのIPアドレスが固定で指定されている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリDNSサーバ」も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

プライマリDNSサーバ

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.10

セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.11

MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Max Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1412)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。



注意

MSS 値はインターネットスピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合でMSS 値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は、必ず“1414”以下の値でご使用ください。

これらの設定について、もう一度入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)再起動後にインターネットに接続できます。



注意

インターネットに正常にアクセス出来ない場合は、付録A「トラブルシューティング」を参照してください。PPPoE接続が正常に行われない場合は、「第4章 4.PPPoEの診断」を参照してください。

CATVインターネットサービス その他のADSL接続サービス

[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]では、通常のADSL/CATV インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。



注意

PPPoE 接続ADSL インターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続]から設定を行ってください。

メインメニューの[簡単インターネット接続設定]ページから[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]を選択します。[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。



IP設定の自動取得(DHCP取得)

プロバイダからIP アドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」、IP アドレスが固定で割り当てられる場合は「しない」を選択します。「しない」の場合は以下の項目に関しても設定してください。(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

WAN 側IPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.40

WAN 側サブネットマスク

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。（工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。）

例：255.255.255.240

WAN 側デフォルトゲートウェイ

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.36

ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。

ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、LAN上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIPアドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。

プロバイダからドメイン名を指定されている場合は、指定されたドメイン名を入力してください。（工場出荷時の状態では空欄に設定されています。）

例：PLANEX.com

ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。（工場出荷時の状態では「brl04a」に設定されています。）

例：Mymachine

DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得する場合は「有効」、DNSサーバのIPアドレスが固定で指定されている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリDNSサーバ」も設定してください。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

プライマリDNSサーバ

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：172.16.1.10

セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：172.16.1.11

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。（再起動には約10秒かかります）

6 PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

[PPPoE複数IPアドレス LAN型接続]では、PPPoEを使ったインターネット接続サービスで、複数の固定グローバルIP アドレスが利用可能なサービスをご利用の場合の設定を行います。



注意

PPPoE ではないADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]から設定を行ってください。

また、IP アドレスが1 個しか割り当てられない通常のPPPoE 採用インターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続]から設定を行ってください。

複数グローバルIPアドレスサービスの利点

通常のPPPoE インターネット接続サービスではIP アドレスが1 個しか割り当てられません。また、PPPoE でプロバイダに接続した際に空いているIP アドレスが割り当てられますので、接続するごとに毎回違うIP アドレスが割り当てられます。これに対し、グローバルIP アドレスが固定的に割り当てられていると、常に同じグローバルIP アドレスでインターネットからアクセスできますので、サーバ公開には必須のサービスです。

PPPoE 複数グローバルIPアドレス接続サービスについて

本製品は「PPPoE複数IPアドレス LAN型接続」に対応しています。

本マニュアルでは、PPPoE 採用ADSL インターネット接続で複数のIP アドレスを提供するサービスを、「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続サービス」としております。その他のサービスでは機能しない場合がありますのでご注意ください。

「PPPoE 複数グローバルIP アドレスLAN 型接続サービス」はWWW 設定画面のみで設定可能です。

TELNET 設定画面では設定できませんのでご注意ください。

IPアドレスの割り当て方法

プロバイダから複数のグローバルIP アドレスが割り当てられる場合、割り当てられる連続したグローバルIPアドレス空間のうち、最初(ネットワークアドレス)と最後(ブロードキャストアドレス)は、システムで予約されておりホスト(コンピュータ)には使用できません。また、本製品のようなルータに対するIP アドレスも必要になります。従って、お客様のホスト(コンピュータサーバ)で利用可能なIP アドレスは、(プロバイダから割り当てられたアドレス数 - 3)になります。(プロバイダから8個のグローバルIP アドレスが割り当てられている場合は5個が利用可能)

例：プロバイダから153.16.10.40 ~ 153.16.10.47 までのグローバルIP アドレスが割り当てられた場合

- 153.16.10.40 ネットワークアドレス (使用不可)
- 153.16.10.41 ルータ用 (例：本製品LAN 側ポート)
- 153.16.10.42 お客様ホスト用 (例：プライマリDNS サーバ)
- 153.16.10.43 お客様ホスト用 (例：WWW サーバ)
- 153.16.10.44 お客様ホスト用 (例：メールサーバ)
- 153.16.10.45 お客様ホスト用 (例：FTPサーバ)
- 153.16.10.46 お客様ホスト用 (例：その他サーバ)
- 153.16.10.47 ブロードキャストアドレス (使用不可)



注意

一般的にルータ(本製品LAN側)に設定するグローバルIPアドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

PPPoE複数IPアドレスLAN型接続で、仮想コンピュータ機能を利用する場合には仮想コンピュータで登録されたグローバルIPアドレスをLAN側のグローバルIPアドレスとして利用する事は出来ません。

仮想コンピュータに登録したグローバルIPアドレスとLAN側のコンピュータ/サーバのIPアドレスと重複しないようにしてください。

本製品の機能

本製品の「PPPoE複数IPアドレス LAN型接続」機能を利用すると、プロバイダから割り当てられた複数のグローバルIPアドレスを持つパソコンを、本製品のLAN側ポートに接続可能になります。さらに、プライベートIPアドレスを持つホスト（パソコン）も接続することができます。

この際、本製品のLAN側ポートはグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスをそれぞれ1個、合計2つのIPアドレスを保持します。また、WAN側ポートにはIPアドレスは割り当てられておらず、Unnumberedとなります。

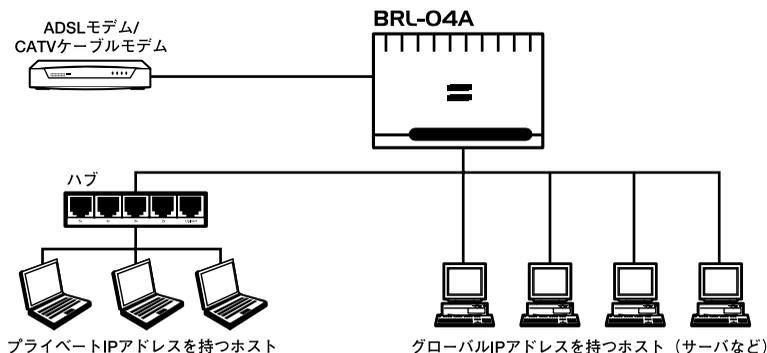


図3-1 PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

グローバルIPアドレスネットワーク					
区分	ネットワークアドレス	デフォルトゲートウェイ	各ホストのアドレス	ブロードキャストアドレス	サブネットマスク
IPアドレス	割り当てられたIPアドレス範囲の最初のグローバルIPアドレス	割り当てられたIPアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレス	ユーザ使用可能なグローバルIPアドレス	割り当てられたIPアドレス範囲の最後のグローバルIPアドレス	プロバイダから指定されたサブネットマスク
例: 53.16.10.40～ 153.16.10.45 の6個のグローバルIPアドレスが割り当てられている場合	153.16.10.40	153.16.10.41	153.16.10.42～ 153.16.10.44	153.16.10.45	255.255.255.240

表3-1 グローバルIPアドレス



注意

一般的にルータ（本製品LAN側ポート）に設定するグローバルIPアドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

プライベートIPアドレスネットワーク					
区分	ネットワークアドレス	デフォルトゲートウェイ	各ホストのアドレス	ブロードキャストアドレス	サブネットマスク
IPアドレス	任意のネットワークアドレス	任意のデフォルトゲートウェイ	任意	任意のブロードキャストアドレス	任意のサブネットマスク
例： 19.168.1.0/2.4 プライベートアドレス空間を使用する場合	192.168.1.0	192.168.1.1	192.168.1.2～ 192.168.1.254	192.168.1.255	255.255.255.0

表3-2 プライベートIPアドレス

ホスト（コンピュータ・サーバ）の設定

本製品の複数グローバルIP アドレスLAN 型接続機能（NAT &スルー）を利用する場合、LAN 側ポートに接続したホスト（パソコン・サーバ）のネットワーク設定は次のようになります。

グローバルIP アドレスのコンピュータ

<IP アドレス>

プロバイダから割り当てられたIP アドレス空間のうち、利用可能なグローバルIPアドレス（本製品LAN 側ポートに設定するルータアドレスを除く）

例：153.16.10.41

<サブネットマスク>

プロバイダから指定されたサブネットマスク

例：255.255.255.240

<デフォルトゲートウェイ>

割り当てられたIPアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレス（＝本製品LAN側ポートに設定したグローバルIP アドレス）

例：153.16.10.41

プライベートIP アドレスのコンピュータ（本製品のDHCP サーバ機能を利用しない場合）

<IP アドレス>

任意のIP アドレス

例：192.168.1.1

<サブネットマスク>

任意のサブネットマスク

例：255.255.255.0

<デフォルトゲートウェイ>

本製品LAN 側ポートに設定したプライベートIP アドレス

例：192.168.1.1

<DNSサーバ>

プロバイダから指定されているDNSサーバアドレス

例：172.16.1.10

プライベートIP アドレスのコンピュータ（本製品のDHCP サーバ機能を利用する場合）

各パソコンのDHCPクライアント機能を有効（IPアドレスを自動的に取得する）にするだけで設定完了です。

本製品の「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続」の設定方法

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. メインメニューの [簡単インターネット接続設定] ページから [PPPoE複数IPアドレスLAN型接続] を選択します。 [PPPoE複数IPアドレスLAN型接続] ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。

3

Webブラウザを使った設定方法 (簡単インターネット接続設定)



ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は「@」(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例：pci0011@planexbrl.ne.jp



注意

最大64文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても "*"（アスタリスク）表示されます。（工場出荷時の状態では「password」に設定されています。）

例：rY0Co%Mtu



注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoEサービス名を、正確に入力してください。とくに指定されていない場合は入力する必要はありません。（工場出荷時の状態では空欄に設定されています。）

例：PPPServ



注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

コンピュータ上でWWWブラウザを起動した場合など、LAN側のコンピュータからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続させる場合は、「有効」に設定してください。「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続」の場合は、「有効」に設定することをお勧めします。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）



注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定] [PPPoEの診断] ページで手動接続しなければなりません。

自動切断(分)

PPPoEでインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的にPPPoE接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。「0 ~ 120」の範囲で指定できます。自動切断したくない場合は、この欄に「0」を入力してください。複数グローバルIP アドレスLAN 型サービスの場合は、「0」を入力して自動切断しないことを推奨します。（工場出荷時の状態では「5」に設定されています。）

例：0

IPアドレスの自動取得

プロバイダからルータのアドレスを指定されている場合は「無効」、指定されていない場合は「有効」を入力してください。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

ルータIPアドレス

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合はそのアドレス、指定されていない場合は「0.0.0.0」を入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.41

DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得する場合は「有効」、DNSサーバのIP アドレスが固定で指定されている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリDNSサーバ」も設定してください。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

プライマリDNSサーバ

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：172.16.1.10

セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：172.16.1.11

LAN側グローバルIPアドレス

ルータのLAN側ポートで使用するグローバルIPアドレスを入力してください。「ルータIPアドレス」と同じアドレスでもかまいません。LAN側でグローバルIPアドレスを使用する機器のデフォルトゲートウェイにはこのアドレスを設定してください。

例：153.16.10.41

LAN側グローバルサブネットマスク

ルータのLAN側ポートで使用するグローバルIPアドレスを入力してください。上記ルータIPアドレスと同じアドレスでもかまいません。LAN側でグローバルIPアドレスを使用する機器のデフォルトゲートウェイにはこのアドレスを設定してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：255.255.255.240

MSS(Max Segment Size)

MSS(Max Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1412)を変更する必要はありません。

不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。



注意

MSS 値はインターネット接続スピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合でMSS 値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は、必ず「1414」以下の値でご使用ください。

3. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。
「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]
ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保
存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

3

Webブラウザを使った設定方法(簡易インターネット接続設定)

詳細設定

こ

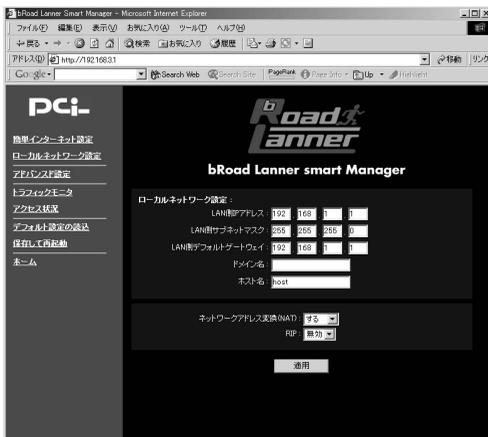
ここでは本製品の詳細な設定方法について説明します。

4

詳細設定

1 ローカルネットワーク設定

WWWブラウザの画面左側から、[ローカルネットワーク設定]の文字をクリックします。メインメニューにローカルネットワーク設定画面が表示されます。各設定項目に必要な情報を入力します。



LAN側IPアドレス

本製品LAN 側ポートに設定するIP アドレスを入力します。ここに入力するアドレスがLAN 側からみた本製品のIP アドレスになります。(工場出荷時の状態では「192.168.1.1」に設定されています。)

例：192.168.1.1

LAN側サブネットマスク

本製品LAN 側ポートに接続されたネットワークのサブネットマスクを入力します。(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例：255.255.255.0

LAN側デフォルトゲートウェイ

本製品のLAN 側ポートに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェイ(デフォルトルータ)のIP アドレスを入力します。通常は本製品を経由してインターネットに接続する形になりますので、上記[LAN 側ポートIP アドレス]と同じ値を入力します。(工場出荷時の状態では「192.168.1.1」に設定されています。)

例：192.168.1.1

ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。

ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、LAN 上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIP アドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。

プロバイダからドメイン名を指定されている場合は、指定されたドメイン名を入力してください。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：PLANEX

ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。(工場出荷時の状態では「brl04a」に設定されています。)

例：Mymachine

ネットワークアドレス変換(NAT)

NAT(Network Address Translator)機能を有効にする場合は[する]に、無効にする場合には[しない]に設定します。

(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

RIP

RIPを有効にすると、隣接ルータと経路情報を交換しあい、自分自身のルーティングテーブルを自動的に構成ようになります。RIPを利用する場合には[有効]に、利用しない場合には[無効]に設定します。

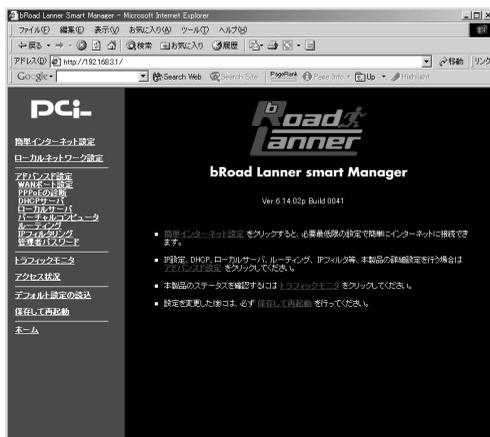
(工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。)

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

2 アドバンスド設定

[メインメニュー] またはWWWブラウザの画面左側から、[アドバンスド設定]の文字をクリックします。画面左側に[アドバンスド設定]の各項目が表示されます。



WAN ポート設定

この項目では本製品のWAN側のネットワーク設定及びインターネットへの接続設定を行います。

PPPoEの診断

この項目ではPPPoEによるインターネットへの手動接続及び手動切断が行います。インターネットに自動的に接続されない場合などにここで診断できます。

DHCPサーバ

ここではLAN側のDHCPサーバ設定を行います。

ローカルサーバ

ここではLAN側にある特定のサーバをWAN側からアクセスする為の設定を行います。

バーチャルコンピュータ

ここではLAN側にある特定のサーバをWAN側からアクセスする為の設定を行います。

ルーティング

ここではルーティングテーブルの設定と参照を行います。

IPフィルタリング

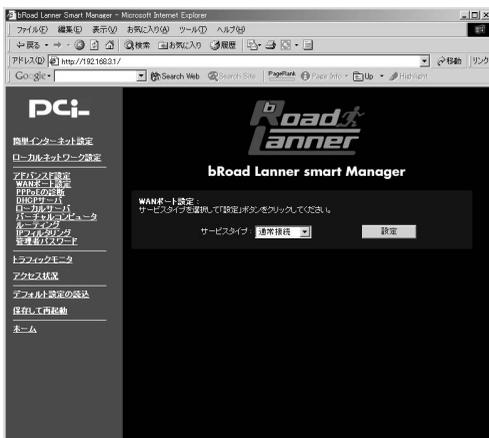
ここではIPフィルタリングの設定が行えます。IPアドレスによるアクセス制限を設定できます。

管理者パスワード

ここでは本製品の設定変更を行える管理者用のパスワードの設定を行います。

3 WANポート設定

WWWブラウザの画面左側から、「WANポート設定」の文字をクリックします。メインメニューにWANポート設定のページが表示されます。ご利用のインターネット接続サービスのタイプを選択して「設定」を押してください。各サービスタイプの設定ページが表示されます。

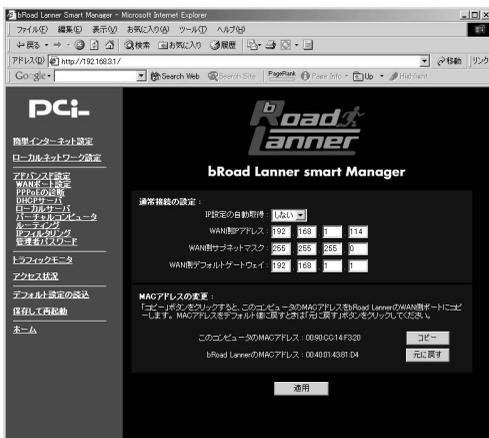


4

詳細設定

通常接続の設定

本製品を通常のルーターとしてご利用の場合の設定です。WAN側ポートのIPアドレスの取得にDHCPを使用するサービスの場合にも、こちらから設定を行ってください。



IP設定の自動取得

DHCPサーバからIP アドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」、IP アドレスが固定で割り当てる場合は「しない」を選択します。「しない」の場合は以下の項目に関する設定してください。(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

WAN側IPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIP アドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.55

WAN側サブネットマスク

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例：255.255.255.0

WAN側デフォルトゲートウェイ

IP アドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.1

MACアドレスの変更

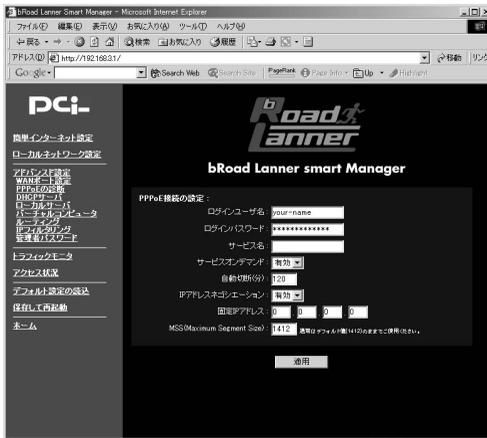
本製品のWAN側のMACアドレスに、現在設定を行うためにアクセスしているコンピュータのMACアドレスをコピーする事が出来ます。

これにより、ADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの登録が必要なプロバイダの場合に、すでに登録しているコンピュータのMACアドレスをコピーすれば登録の変更をする事無くご利用いただけます。

「コピー」ボタンを押すと、現在設定を行うためにアクセスしているパソコンのMACアドレスがWAN側ポートにコピーされます。「元に戻す」ボタンを押すとWAN側ポートのMACアドレスが本製品のMACアドレスに戻ります。

PPPoE接続の設定

NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「Single」サービス、名古屋めたりっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインターネット接続サービスをご利用の場合の設定です。



4

詳細設定

ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE接続ユーザ名を、正確に入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は”@”(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例：pci0011@planexbrl.ne.jp



注意

最大64文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレスなどと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても "*" (アスタリスク) 表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例：rY0Co%Mtu



注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoE サービス名を、正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：PPPServ



注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

パソコン上でWWW ブラウザを起動した場合など、LAN 側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)



注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンス設定] - [PPPoE接続の診断] ページで手動接続しなければなりません。

自動切断

PPPoE でインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。"0 ~ 120"の範囲で指定できます。自動切断したくない場合は、この欄に"0"を入力してください。(工場出荷時の状態では「5」に設定されています。)

例：3

IPアドレスネゴシエーション

IP アドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IP アドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「ルータIPアドレス」も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

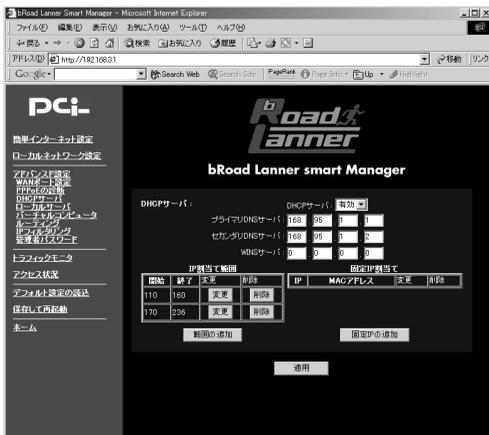
固定IPアドレス

IP アドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIP アドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.50

5 DHCPサーバ

WWWブラウザの画面左側から、[DHCPサーバ]の文字をクリックします。メインメニューに[DHCPサーバ]の設定ページが表示されます。



4

詳細設定

DHCP サーバ

「有効/無効」から選択してください。この機能を有効にするとLAN 側ポートに接続されたネットワーク上のパソコンに対して、本製品が自動的にIP アドレスを割り当てます。有効にする場合は以下の項目も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

プライマリDNS サーバ

プロバイダから指定されたDNS サーバのIP アドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.1 0

セカンダリDNS サーバ

プロバイダからセカンダリ(バックアップ)DNS サーバのIP アドレスも指定されている場合は入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.11

WINS サーバアドレス

LAN 側ポートに接続されたネットワーク上にWINS サーバがある場合はそのIP アドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.20

IP 割り当て範囲

本製品のDHCP サーバ機能により、LAN 側ポートに接続されたネットワーク上のパソコンに対して自動的に割り当てられるIP アドレスの範囲がリスト表示されています。この範囲を変更したい場合は[変更]ボタンを、削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。(工場出荷時の状態では「192.168.1.21」～「192.168.1.120」までのIP アドレス割り当て範囲が設定されており、最高100台のパソコンにIPアドレスを自動的に設定することができます。)

IP アドレスの範囲を追加したい場合は、[範囲の追加]ボタンを押すと、[IP 割当て範囲]ページが表示されます。追加したいIP アドレス範囲の最初のホストアドレスを[開始アドレス]欄に、最後のホストアドレスを[終了アドレス]欄に入力して[適用]ボタンを押してください。入力した内容が反映されたページが表示されます。

[IP割当て範囲]は最大で4つの範囲を指定できます。

固定IPの追加

本製品のDHCP サーバ機能を利用し、なおかつ特定のパソコン(サーバなど)のみ任意のIP アドレスで固定させたい場合に利用します。既に固定IP 割り当てを設定している場合はリスト表示されます。各リストを変更したい場合は[変更]ボタンを、削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。固定IP 割り当てを追加したい場合は、[固定IPの追加]ボタンを押すと[固定IP 割り当て]ページが表示されます。固定設定したいIP アドレスのホストアドレスを[IP アドレス]欄に、そのIP アドレスを利用するコンピュータのMAC アドレスを[MAC アドレス]欄に入力して、[適用]ボタンを押してください。入力した内容が反映されたページが表示されます。この設定を行うと、DHCP サーバ機能を利用しているにもかかわらず、特定のパソコンだけ常に同じIP アドレスが割り当てられます。

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。
「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

固定IPでは最大で16個のクライアント登録できます。

既にローカルサーバ設定がされている場合は、[ローカルサーバリスト]に各エントリが表示されます。エントリを変更したい場合は[変更]ボタンを、エントリを削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。
TCP ポートを使ったローカルサーバリストを追加したい場合は[TCPエントリの追加]ボタンを、UDP ポートを使ったローカルサーバリストを追加したい場合は[UDPエントリの追加]ボタンを押してください。[ローカルサーバ]ページが表示されます。

外部ポート

インターネット上に公開したいポート番号を入力します。

例：WWW サーバの場合は、TCP の80 番ポート

プライベートIP アドレス

上記ポートの転送先パソコンのIP アドレスを入力します。

例：192.168.1.25

内部ポート

転送先パソコンでの受信ポート番号を入力します。通常は外部ポートと同じ番号で構いません。

例：WWW サーバの場合は、TCPの80 番ポート

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。[ローカルサーバリスト]にエントリが追加されます。

[ローカルサーバリスト]は最大32エントリまで登録できます。

バーチャルコンピュータ

「はい/いいえ」から選択してください。「はい」にした場合は以下の[IP アドレス]欄も入力してください。(工場出荷時の状態では「いいえ」に設定されています。)

グローバルIPアドレス

WAN側のグローバルIPアドレスを登録します。1台目のバーチャルコンピュータのグローバルIPアドレスは、本製品のWAN側のIPアドレスになります。PPPoE複数IPアドレスをご利用の場合は2台目以降にはプロバイダーから割り当てられているグローバルIPアドレスを入力してください。

プライベートIPアドレス

プライベートLAN側にあるバーチャルコンピュータ機能を利用したいコンピュータのIP アドレスを入力してください。PPPoE複数IPアドレスをご利用の場合は割り当てたグローバルIPアドレス分(最大8台)のコンピュータを登録できます。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)



注意

バーチャルコンピュータ機能を利用するパソコンのIP アドレスは固定しておかなければなりません。

PPPoE複数IPアドレスLAN型接続をご利用されている場合には、LAN側のグローバルIPアドレスに登録しているIPアドレスはバーチャルコンピュータで登録するグローバルIPアドレスとして利用する事は出来ません。

バーチャルコンピュータに登録したグローバルIPアドレスとLAN側のコンピュータ/サーバのIPアドレスと重複しないようにしてください。

ゲートウェイ

送信先アドレスへのゲートウェイのIP アドレスを入力してください。

例：192.168.1.10

メトリック

メトリックには1から16までの値を入力可能です。送信先に対して複数の経路がある場合は、より低いメトリック値を持つ経路が優先されます。

例：1

プライベート

[はい/いいえ]から選択します。定義したルーティング情報をブロードキャストさせたくない場合は「はい」を選択してください。

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

[ルーティングテーブル]にエントリが追加されます。

[ルーティングテーブル]は最大で5エントリまで登録できます。

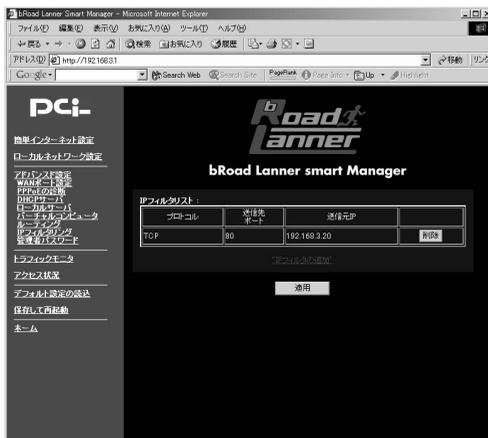
9 IPフィルタリング

IPフィルタリング機能では、プライベートLAN 上のユーザのWEBの参照やE-mail などのインターネットサービスの使用制限を行うことが可能です。また、特定のユーザのみこれらのサービスを使用できないように設定することも可能です。

デフォルトでは、IP フィルタリング機能は無効に設定されています。

WWWブラウザの画面左側から、[IPフィルタリング]の文字をクリックします。

メインメニューに[IPフィルタリスト]のページが表示されます。



既にIPフィルタリング設定がされている場合は、[IPフィルタリスト]の各エントリが表示されます。

エントリを変更したい場合は[変更]ボタンを、エントリを削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。

新たにIP フィルタリング情報の定義を行いたい場合は、[IP フィルタリストの追加]の文字を押してください。[IPフィルタリストの追加/変更]ページが表示されます。

プロトコル

フィルタリングするパケットのプロトコルを「TCP/UDP 」から選択してください。

送信先ポート

フィルタリングをするパケットのポート番号を入力してください。

送信先IP アドレス

上記ポート番号で指定したパケットフィルタリングを、特定のパソコンに対してのみ適用したい場合は、そのパソコンのIP アドレスを入力してください。「0.0.0.0」を入力するとすべてのパソコンに適用されます。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

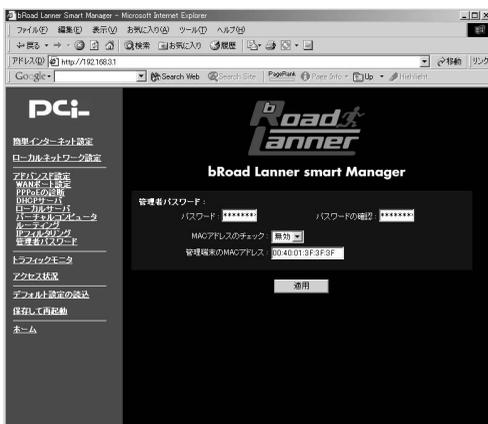
入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

[IPフィルタリスト]は最大で64エントリまで登録できます。

10 管理者パスワード

本製品ではセキュリティ確保のため、パスワードのほかにMACアドレスによる管理用端末の指定が可能となっております。MACアドレスによる管理用端末のチェックを有効にすると、設定したMAC アドレス以外の端末から本製品のWEB およびtelnet 設定画面へのアクセスができなくなり、本製品の設定画面への不正ログイン/設定変更を防ぐことができます。以下の方法で設定を行ってください。

WWWブラウザの画面左側から、[管理者パスワード]の文字をクリックします。メインメニューから[管理者パスワード]のページが表示されます。



管理者パスワード

WWW ブラウザやTELNET で本製品の設定画面を開く際に必要になる管理者パスワードを設定します。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても "*" (アスタリスク) 表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例：PassWord



注意

最大8文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

4

詳細設定

パスワードの確認

誤入力防止のため、上記[管理者パスワード]で入力した文字を再入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても "*" (アスタリスク) 表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例：PassWord



注意

最大8文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

MACアドレスのチェック

「有効/無効」から選択してください。「有効」にする場合は以下の[設定端末のMAC アドレス]欄にも入力してください。(工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。)

管理端末のMACアドレス

本製品を設定できる端末(コンピュータ)のMACアドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「00:00:00:00:00:00」に設定されています。)



注意

パスワード設定とMAC アドレスチェックは [適用] ボタンを押した直後から有効になります。MACアドレスの入力間違えの無いように気をつけてください。

LAN側ポート

本製品のLAN側ポートのIPアドレスです。

受信

本製品の電源を入れてから、LAN側ポートが受け取ったデータ量及びパケット数と廃棄されたパケット、エラーパケットの数を表示します。

送信

本製品の電源を入れてから、LAN側ポートから送り出したデータ量及びパケット数とエラーパケットの数を表示します。

WAN側ポート

本製品のWAN側ポートのIPアドレスです。また、PPPoE接続時には、接続時間が表示されます。

受信

本製品の電源を入れてから、WAN側ポートが受け取ったデータ量及びパケット数と廃棄されたパケット、エラーパケットの数を表示します。

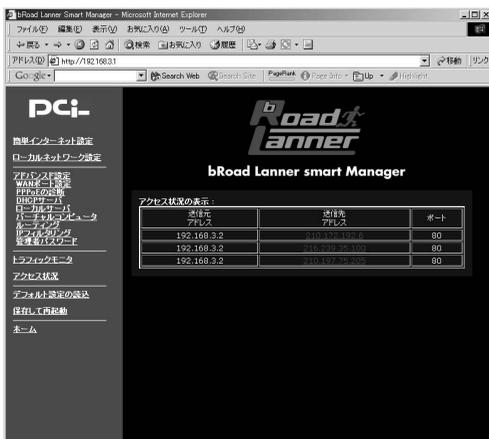
送信

本製品の電源を入れてから、WAN側ポートから送り出したデータ量及びパケット数とエラーパケットの数を表示します。

2 アクセス状況

アクセス状況ではLAN側のコンピュータのインターネットへのアクセス状況を参照する事が出来ます。

WWW ブラウザの画面左側から、[アクセス状況]の文字をクリックします。メインメニューに[アクセス状況]のページが表示されます。



送信元アドレス

現在インターネットにアクセスしているコンピュータのIP アドレスです。

送信先アドレス

送信元アドレスのコンピュータがアクセスしているインターネットサーバのIPアドレスです。

ポート番号

送信元アドレスのコンピュータとインターネットサーバの間の通信で使われているIPポート番号をです。

トラブルシューティング

POWER LEDが点灯しない

本製品付属のACアダプタを使用していますか？

ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？

ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

WAN LEDが点灯しない

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

LANケーブルの種類（ストレートまたはクロス）は合っていますか？

LAN LEDが点灯しない

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびハブ（コンピュータ）のRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

ハブ（コンピュータ）の電源は入っていますか？

LANケーブルの種類（ストレートまたはクロス）は合っていますか？

WEB設定画面が表示されない

コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか？コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。

コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得（DHCPを使用）する設定にしてください。

使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示（ツール）」、「インターネットオプション」、「接続」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。

コンピュータがIPアドレスを取得できていない可能性があります。WindowsではDOSプロンプトから、ipconfig コマンドを実行するとIPアドレスが表示されています。Macintoshではアップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」を開いて、IPアドレスの欄にIPが割り振られてるか確認してください。コンピュータがIPアドレスを取得できない場合は、コンピュータを再起動してください。（デフォルト設定時は192.168.1.xxx がIPアドレスとして割り当てられます。）

インターネットにアクセスできない

WAN側のIP設定が間違っている可能性があります。

プロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、「第3章」または「4-3 WANポート設定」をやり直してください。

DNSサーバの設定が間違っている可能性があります。

DHCPサーバ機能を利用されている場合はプロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、「第3章」または「4-5 DHCPサーバ」をやり直してください。

DHCPサーバ機能を利用していない場合はプロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、コンピュータのDNSサーバ設定を確認してください。

IPフィルタが設定されていませんか？

IPフィルタの設定を確認してください。

インターネット（WAN）からの設定画面へのログインを禁止したい

ローカルサーバ機能を使用して、インターネット（WAN側）からの本製品のWEBおよびtelnet設定画面へのアクセスを禁止することができます。WEBおよびtelnetのポート番号（80、23）をプライベートLAN上で使用していないIPアドレスに割り当ててください。

パスワードを忘れてしまった

本製品の管理者パスワードを忘れてしまい、設定画面にログインできなくなってしまった場合は、「付録C デフォルト設定の復帰」を参照し、本製品を工場出荷時の状態に戻してください。

MACアドレスがわからない

本製品のMACアドレスは本体底面のシールに印刷されています。Node ID：後の12桁の文字列が本製品のMACアドレスです。

ファームウェアのアップデート

本製品はファームウェアをフラッシュROMに搭載しており、ファームウェアのアップデートが行われた場合に、簡単にアップデートが可能です。ファームウェアは、弊社ホームページ上(<http://www.planex.co.jp/>)からダウンロードしてください。



注意

アップデートに使用するコンピュータは、必ず本製品のプライベートLAN上に接続してください。また、アップデートに使用する以外のコンピュータおよびWAN側のADSL/ケーブルモデムを外しておいてください。

ファームウェアのファイルをホームページからダウンロードしたら、以下の手順でアップデートを行ってください。

Windows 95/98/Me/NT/2000でのアップデート

1. 本製品のプライベートLAN上に接続したコンピュータにファームウェアアップデートユーティリティ(BRLTFTP.EXE)とファームウェアファイル(igate14.bin)をダウンロードして、同じフォルダにコピーしてください。
2. ファームウェアアップデートユーティリティ(BRLTFTP.EXE)を起動します。[Model Name]から本製品の型番(BRL-04A)を選択し、IP Address に本製品のLAN側のIPアドレスを入力してください。
3. [Upgrade] ボタンをクリックしてください。しばらくするとファームウェアの書き換えが開始されます。

- しばらくして、「Upgrade successful!」というメッセージが表示されたら、アップデートは完了です。[OK]ボタンをクリックしてください。

B

ファームウェアのアップデート



注意

ファームウェアの書き換え作業中は、STATUS LEDが点滅します。STATUS LEDが点滅している間は、本製品およびコンピュータの電源を絶対に切らないでください。ファームウェアの書き換えに失敗し、復旧不能となる場合があります。

ファームウェアのアップデートに失敗するとSTATUS LEDが点滅し続けます。この場合は本製品の電源を切ったり、再起動を行ったりせずにもう一度上記手順3のコマンドを実行してみてください。それでもファームウェアのアップデートが成功しない場合は、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

WindowsNT/2000でのアップデート

- 本製品のプライベートLAN上に接続したコンピュータで、「スタート」メニューの「プログラム」から「コマンドプロンプト」を実行してください。
- ダウンロードしたファームウェアファイル(igate14.bin)を現在のディレクトリにコピーしてください。(プロンプト表示が C : ¥TEMP > の場合は C : のTEMPフォルダにコピーして下さい。)
- コマンドプロンプトで以下のように入力してください。ファームウェアの転送が開始されます。

```
fttp 本製品のLAN側IPアドレス get upgrade  
fttp -i 本製品のLAN側IPアドレス put igate14.bin
```

- しばらくして、「Transfer Successful」というメッセージが表示されれば、アップデートは成功です。



注意

ファームウェアの書き換え作業中は、STATUS LEDが点滅します。STATUS LEDが点滅している間は、本製品およびコンピュータの電源を絶対に切らないでください。
ファームウェアの書き換えに失敗し、復旧不能となる場合があります。

ファームウェアのアップデートに失敗するとSTATUS LEDが点滅し続けます。この場合は本製品の電源を切ったり、再起動を行ったりせずにもう一度上記手順3のコマンドを実行してみてください。それでもファームウェアのアップデートが成功しない場合は、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

UNIXでのアップデート

1. ルート(root)でログインしてください。
2. 現在のディレクトリにダウンロードしたファームウェアファイル (igate14.bin)をコピーしてください。
3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを入力してください。

```
tftp 本製品のLAN側IPアドレス
```

4. TFTPプロンプトで以下のコマンドを入力してください。

```
get upgrade  
binary  
put ipgate14.bin
```

5. しばらくして、ファイル転送が終了したらアップデートは完了です。
6. TFTPを終了してください。



注意

ファームウェアのアップデートに失敗するとSTATUS LEDが点滅し続けます。この場合は、本製品の電源を切ったり、再起動を行ったりせずにもう一度上記手順4のコマンドを実行してみてください。それでもファームウェアのアップデートが成功しない場合は、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

Macintoshでのアップデート

Macintoshからファームウェアをアップグレードする場合にはMacintosh用TFTPクライアントソフトを利用します。ここでは代表的なMacintosh用TFTPクライアントソフト「MacTFTP Client」を利用した方法を説明します。

以下は「MacTFTP Client」が配布されているホームページアドレスです。ここからソフトウェアをダウンロードしてください。

MacTFTP

http : //www.macorchard.com/ftp.html#MacTFTP

1. 「MacTFTP Client」とファームウェアファイル(igate14.bin)をMacintosh上にダウンロードします。
2. 「MacTFTP Client」を起動します。
 - (1) [Receive] ボタンを押して反転表示させてください。
 - (2) [Address] 欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。
 - (3) [File] ボタンを押し、名前欄に「Upgrade」と入力し、保存ボタンを押してください。
 - (4) [Start] ボタンを押してください。
3. "Transfer Complete Successfully"と表示されますので、[Reset] ボタンを押してください。
 - (1) [Send] ボタンを押して反転表示させてください。
 - (2) [File] ボタンを押してください。

ダウンロードしたファームウェアファイル(igate14.bin)を指定して開くボタンを押してください。
 - (3) [Address] 欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。
 - (4) [Start] ボタンを押してください。
4. "Transfer Complete Successfully"と表示されます。以上でファームウェアの更新は終了です。

デフォルト設定の復帰

本

製品のログインパスワードやIPアドレスを忘れてしまったり、不正なIPフィルタを追加してしまったなどの理由で、本製品のWEB設定画面にログインできなくなってしまった場合は、以下の手順で本製品を工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。

1. 電源コードを外し本製品の電源を切ってください。
2. 本体背面のリセットスイッチを押したままの状態、電源ケーブルを接続し電源を入れてください。STATUS LEDが点滅を開始します。
3. そのまま、リセットスイッチを10秒以上押し続けてください。10秒たったらスイッチを離してください。
4. リセットスイッチを約1秒間(STATUS LEDが点滅を開始するまで)押し続けてください。STATUS LEDが5回点滅します。このとき工場出荷時のデフォルト設定が読み込まれます。
5. 続いて、本製品は自動的に再起動します。このとき、STATUS LEDが6回点滅します。

C

デフォルト設定の復帰

デフォルト設定

本

製品の工場出荷時のデフォルト設定は以下のようになっています。デフォルト設定の読み込みを行った場合も、以下の設定が読み込まれます。

D

デフォルト設定

項目	設定内容	
LAN側	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DHCPサーバ	DHCPサーバ	有効
	DHCP IP割当て範囲	192.168.1.21~120
	DHCP固定IP割当て	なし
	プライマリDNS	0.0.0.0
	セカンダリDNS	0.0.0.0
WINSサーバ	0.0.0.0	
WAN側	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
	サービスタイプ	通常接続
	DHCPクライアント	有効
パスワード	password	
管理端末のチェック	無効	
管理端末のMACアドレス	00:00:00:00:00:00	
ドメイン名	未設定	
ホスト名	br104a	
NAT	有効	
RIP	無効	
ローカルサーバ	TCPポート23→192.168.1.254 TCPポート80→192.168.1.254	
バーチャルコンピュータ	なし	
ルーティングテーブル	なし	
IPフィルタリング	なし	

telnet設定

本

製品をtelnetを使用して設定する場合の設定メニューのメニュー構成について説明します。

< 0.General Information メニュー >

Administrator Security Setup

- Old password現在のパスワードの入力
- New password新しいパスワードの入力
- Retyoe Password.....新しいパスワードの再入力
- Authorize MAC Address...MACアドレスによる管理端末のチェック (Yes/No)
- Admin's MAC Address.....管理端末のMACアドレス

System Setup

- LAN IP AddressLAN側IPアドレス
- LAN Netmask.....LAN側サブネットマスク
- Default Gateway.....デフォルトゲートウェイ
- Domain Nameドメイン名
- Host Nameホスト名
- Service On DemandPPPoE自動接続 (Yes/No)
- Network Address Translation...NAT機能 (Yes/No)

< 1.WAN Port Setup >

- Service TypeWAN側サービスタイプの変更
- Regular Service Setup.....通常接続の設定
- PPPoE Sevice SetupPPPoE接続の設定

< 2.DHCP Server Setup >

- Using DHCP ServerDHCPサーバの有効/無効

E

telnet設定

Domain Name Server IP … プライマリDNSのIPアドレス
Secondary DNS Server IP … セカンダリDNSのIPアドレス
WINS IP …………… WINSサーバのIPアドレス
Dynamic-IP Range Setup … IP割当て範囲の設定
Fixed IP Table Setup …… 固定IP割当ての設定
DHCP Leased Table …… DHCP割当中IPリスト

< 3. Local Server Setup >

Add a New Entry …………… ローカルサーバ設定の追加
Delete an Old Entry …… ローカルサーバ設定の削除

< 4. DMZ Host Setup >

Add a New Entry …………… バーチャルコンピュータの設定の追加
Delete an Old Entry …… バーチャルコンピュータの設定の削除

< 6. Static Route Setup >

Add a New Entry …………… ルーティング情報の追加
Delete an Old Entry …… ルーティング情報の削除

< 7. Service Diagnostic >

Connect Service …………… PPPoEの接続テスト
Disconnect Service …… PPPoEの切断
PING Host …………… pingの実行

< 8. Internet Spy >

アクセス状況の表示

< S. Save and Reboot >

保存して再起動

< D. Load the default value >

デフォルト設定の読み込み

< E. Exit >

設定画面からのログアウト

仕様

< 準拠する標準 >

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

< ポート >

LAN側：10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 スイッチ × 4ポート

WAN側：10BASE-T RJ-45 × 1ポート

< LED >

POWER、STATUS、WAN、LAN

< 入力電源 >

DC 12V、1A

< 消費電力 >

最大12W

< 外形寸法 (W × D × H) >

224.4 × 144.6 × 34 mm

< 重量 (本体のみ) >

402g

< 環境 >

動作温度 0 ~ 40

動作湿度 35 ~ 85%

< EMI >

FCC Class A , CE Mark

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

ブラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名 Product name	4ポート ブロードバンドルータ
型番 Product No.	BRL-04A
製造番号 Serial No.	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件となります。

初期不良・修理の手順(センドバック方式)

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。

ブラネックスコミュニケーションズ(株)

サポートセンター フリーダイヤル 0120-415977

2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。
(誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

保証書

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間		
製品名 Product Name	4ポート ブロードバンドルータ		
型番 Product No.	BRL-04A	製造番号 Serialt No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。) 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<div style="text-align: center;"> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都道 府県 </div>
TEL	FAX
メールアドレス	
ご購入 代理店名 ・所在地	

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。
なお弊社ホームページにてユーザー登録を行って
いただいていない場合には、
一切のサポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日（祭日は除く）

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-5614-1018

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記Webサイトで行っておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社



BRL-04A 簡単設定マニュアル

BROADBAND ROUTER

本製品を安全にお使いいただくために

警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



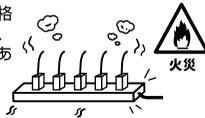
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



液体・異物はいれないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所

雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードをつけて移動しないで！

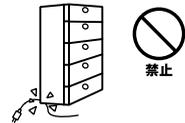
本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。



目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	
1. 概要	4
2. 梱包内容の確認	4
3. 各部の名称	5
2. コンピュータの準備	
1. コンピュータの準備	8
3. パソコン及びモデムとの接続	
1. ADSL/ケーブルモデムとの接続(WAN側ポート)	12
2. コンピュータとの接続(LAN側ポート)	13
3. 電源の接続	13
4. LEDの確認	13
4. bRoadLannerの設定	
1. パソコンのIPアドレスの確認	14
2. bRoadLannerの設定画面へのログイン	16
3. 簡単インターネット設定	17
4. 通常のPPPoE接続	18
5. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス	23

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

1 はじめに

1. 概要

本製品は、通常はパソコン1台でしか利用出来ない事が多い、CATV(ケーブルTV)インターネット接続やADSLインターネット接続を2台以上のコンピュータで利用できるようにするブロードバンドルータです。ADSLモデムやCATVケーブルモデムに接続する事で簡単に2台以上のコンピュータで同時にインターネットに接続できます。

本書は、Windows95/98/98SE/Me/NT/2000及びMacOSを搭載したコンピュータでこれからインターネットを始める方を対象にしています。

初めてインターネットに接続する方は、本紙の手順に従って設定を行って下さい。

注意

より詳細な設定をされる場合は、ユーザーズマニュアルをお読みください。

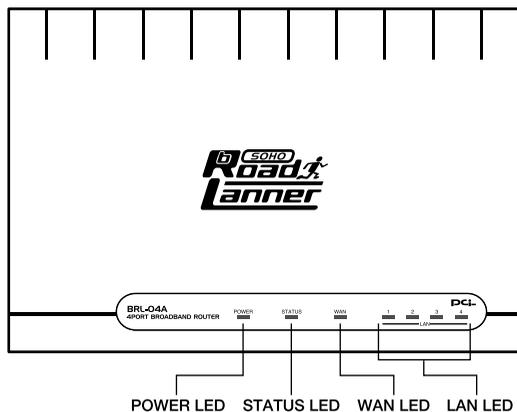
2. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認して下さい。不足している場合はお手数ですが、弊社サポートまでご連絡ください。

- BRL-04A 本体
- BRL-04A用ACアダプタ
- LANケーブル(ストレートタイプ) 1m
- ショートケーブル1本
- ユーザーズマニュアル
- 本紙(BRL-04A簡単設定マニュアル)

3. 各部の名称

本体上面



「POWER LED」

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。本製品に付属のACアダプタを取り付け、アダプタを電源コンセントに差し込むと点灯します。

「STATUS LED」

本製品がデータの送受信中に点滅します。また、電源投入時の起動時などの自己診断中にも点滅します。

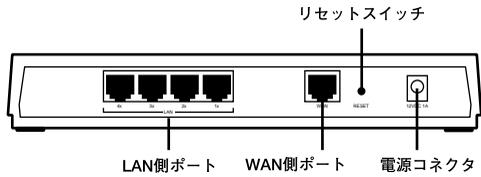
「WAN LED」

WAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。また、ポートがデータの送受信中は点滅します。

「LAN LED」

LAN側ポートが100Mでリンクが確立すると、緑色に点灯します。10Mでリンクが確立すると、オレンジ色に点灯します。また、ポートがデータの送受信中は点滅します。

本体背面



「LAN側ポート」

本製品をLANと接続するためのRJ-45ポートです。通常はストレートタイプのLANケーブルでコンピュータと接続します。

「WAN側ポート」

本製品をADSLモデムまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45ポートです。

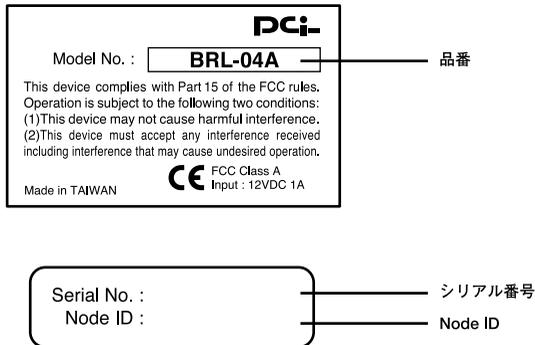
「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合に使用します。本製品を再起動する場合はリセットスイッチを1秒間程度(STATUS LEDが点滅を始めるまで)押ししてください。

裏面ステッカー



「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

「Node ID」

本製品のMACアドレス(物理アドレス)です。プロバイダによってはADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

2 コンピュータの準備

本製品を使用する上で、必要なコンピュータの設定について説明します。

1. コンピュータの準備

bRoadLannerとパソコンの接続にはストレートタイプのLANケーブルを使用します。ご使用のパソコンがRJ-45 LANポートを備えているか確認してください。

注意

ご使用のコンピュータのマニュアルを確認してください。インターフェイスの項目に「RJ-45」と記載されていればLANポートを備えています。メーカーによっては「100BASE-TX/10BASE-T」と記載されている場合もあります。

最近のパソコンにはRJ-45 LANポートを備えている場合が多いですが、RJ-45 LANポートがないパソコンの場合には、デスクトップパソコンは別途PCIバス用LANボード(弊社型番:FW-100TX等)を、ノートパソコンはPCカードスロット用LANカード(弊社型番:FNW-3600-TX)を用意し、パソコンに取り付ける必要があります。

なお、LANボード/LANカードの取り付け及びドライバのインストールについては、パソコンのマニュアルとLANボード/LANカードのマニュアルをご覧ください。

注意

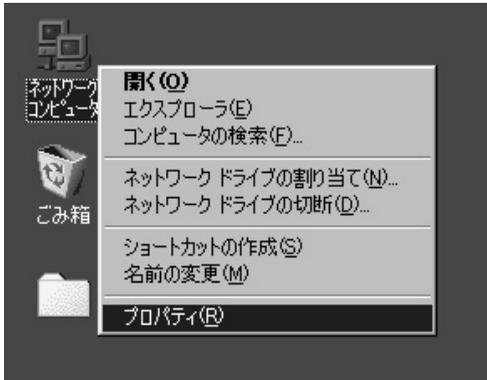
LANボード/LANカードは、本製品に付属していません。販売店等でお買い求め下さい。

LANボード/LANカードの取り付ける前に、必ずコンピュータとLANボード/LANカードのマニュアルをお読みください。

Windowsパソコンの設定

ここでは、Windows98/95での設定例について説明します。WindowsMe/NT/2000の場合は、若干設定画面が異なります。

1. デスクトップ上の「ネットワーク」アイコンをマウスで右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



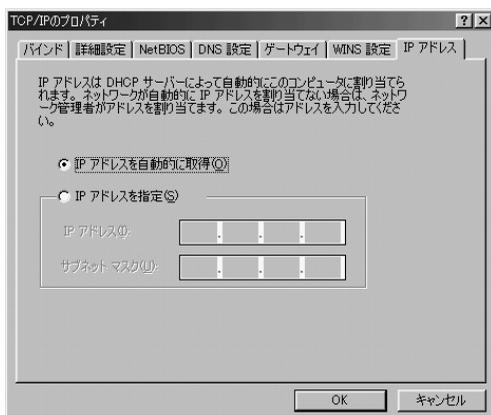
2. 「ネットワーク」のプロパティが開きますので、「現在のネットワークコンポーネント」に「LANアダプタ名」と「TCP/IP」が表示されているか確認してください。



“LANアダプタ名”が表示されていない場合は、LANアダプタが正常にインストールされていません。LANボード/LANカードのマニュアルを参照にインストールしなしてください。

“TCP/IP”が表示されていない場合には、TCP/IPプロトコルがインストールされていませんので、LANボード/LANカードのマニュアルを参照にインストールしてください。

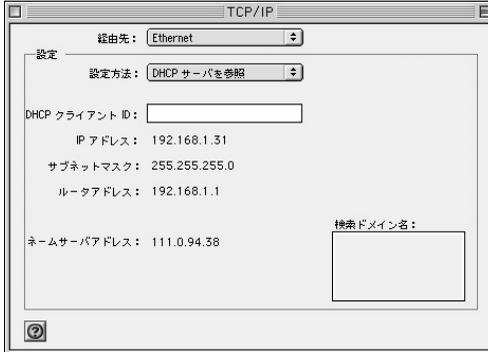
3. “TCP/IP”をダブルクリックしてください。ネットワークアダプタが複数ある場合には、“TCP/IP->LANアダプタ名”と表示されていますので、ご使用になられるアダプタの“TCP/IP”をダブルクリックしてください。
4. 「TCP/IPのプロパティ」が表示されます。“IPアドレスを自動的に取得”にチェックマークを入れてください。チェックマークを入れたら[OK]をクリックしてください。パソコンが再起動を要求してきたら再起動してください。



これで設定は終了です。パソコンを終了させてから **3.パソコン及びモデムとの接続** に進んでください。

Macintoshパソコンの設定

1. アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。
2. 経由先を“Ethernet”にしてください。TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」に設定してください。



3. TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、設定を保存します。

これで設定は終了です。パソコンを終了させてから **3.パソコン及びモデムとの接続** に進んでください。

3 パソコン及びモデムとの接続

ここでは、bRoadLannerとパソコン及びADSL/ケーブルモデムの接続について説明します。

⚠ 注意

接続の際は、bRoadLanner・ADSLモデム/CATVケーブルモデム・パソコンの電源を全て切って行って下さい。

1. ADSL/ケーブルモデムとの接続（WAN側ポート）

1. bRoadLanner付属のLANケーブルもしくは、ストレートタイプのLANケーブルの片側のコネクタをbRoadLanner背面のWAN側ポートとにカチッと音がするまで差し込んでください。
2. LANケーブルの反対側のコネクタをADSL/ケーブルモデムのRJ-45 LANポートにカチッと音がするまで差し込んでください。

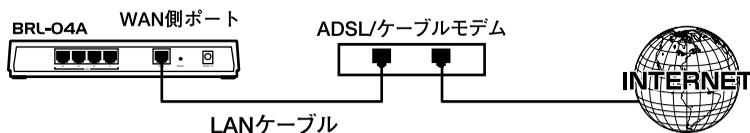


図3-1 ADSL/ケーブルモデムとの接続

⚠ 注意

ADSL/ケーブルモデムの種類によっては、本製品と接続する際にストレートケーブルでなく、クロスケーブルを必要とするものもあります。ADSL/ケーブルモデム側のRJ-45ポートがMDI-Xの場合はストレートケーブルを、MDIの場合はクロスケーブルをご利用ください。詳細については、お手持ちのADSL/ケーブルモデムのマニュアルを参照してください。

2. コンピュータとの接続 (LAN側ポート)

1. ストレートタイプのLANケーブルの片側のコネクタをbRoadLannerのいずれかのLAN側ポートにカチッと音がするまで差し込んでください。
2. LANケーブルのもう片側のコネクタをコンピュータのRJ-45 LANポートにカチッと音がするまで差し込んでください。

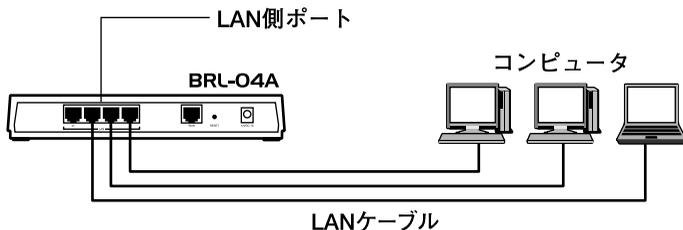


図3-2 ネットワークとの接続

3. 電源の接続

1. ADSL/ケーブルモデムをそれぞれのマニュアルにしたがって電源を入れてください。
2. bRoadLanner付属のACアダプタをbRoadLannerの電源コネクタに接続してください。
3. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。コンセントに直接、ACアダプタを接続できない場合は付属のショートケーブルをご使用ください。
4. コンピュータの電源を入れてください。

▲ 注意

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

4. LEDの確認

すべての機器が接続されて、電源が接続されますと正常に動作している場合には「Power LED」と「WAN LED」及び接続されているLANポートの「LAN LED」が点灯します。点灯していない場合には、bRoadLannerのマニュアルから「付録A トラブルシューティング」を参照してください。

4 bRoadLannerの設定

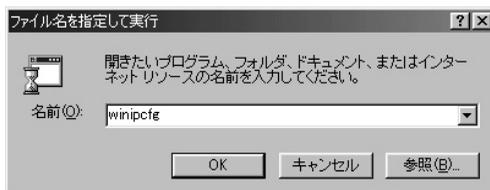
ここでは実際にインターネットに接続するためのbRoadLannerの設定について説明します。

1. パソコンのIPアドレスの確認

bRoadLannerは工場出荷時の状態でDHCPサーバ機能が有効になっています。これにより、接続されているパソコンはIPアドレスを自動的に割り当てられますので、IPアドレスの設定を意識する事なくご利用になれます。ここでは、コンピュータにIPアドレスが正常に割り当てられているか確認する方法について説明します。

Windowsパソコンの場合

1. スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。
2. 「名前」に winipcfg と入力して[OK]ボタンをクリックします。

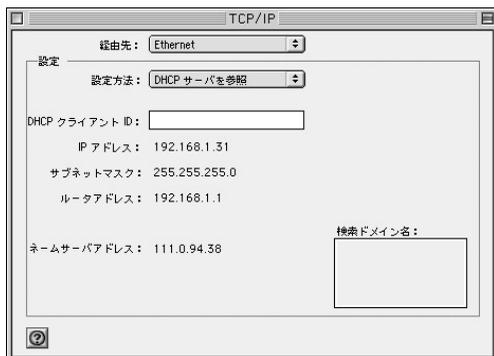


3. IP設定ウィンドウが表示され、現在のIPアドレスが表示されます。bRoadLannerが工場出荷時の状態の場合には 192.168.1.xxx(xxxは21 ~ 120) というIPアドレスが割り振られます。ここでIPアドレスが正常に割り振られていない場合には、bRoadLannerとパソコンの接続を確認して、パソコンを再起動させてください。



Macintoshパソコンの場合

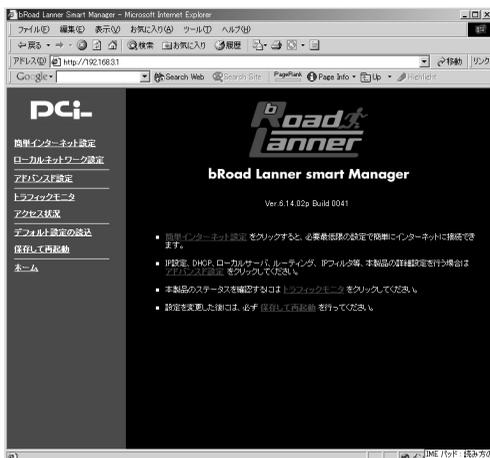
1. アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。
2. TCP/IPウィンドウが表示されます。現在のIPアドレスが表示されます。



3. 「IPアドレス」に表示されている値が現在のIPアドレスです。bRoadLannerが工場出荷時の状態の場合には 192.168.1.xxx(xxxは21 ~ 120) というIPアドレスが割り振られます。ここでIPアドレスが正常に割り振られていない場合には、bRoadLannerとパソコンの接続を確認して、パソコンを再起動させてください。

2. bRoadLannerの設定画面へのログイン

1. パソコンが起動したら、Webブラウザを起動してください。
2. WebブラウザのURLを入力する欄(Netscape Navigatorでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。
3. 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。デフォルトの管理ユーザー名「admin」と、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
4. 本製品のメインメニューが表示されます。



⚠ 注意

WebブラウザからbRoadLannerを設定するには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。
Netscape NavigatorまたはMicrosoft Internet Explorerのバージョン4.0以降の使用を推奨します。

3. 簡単インターネット設定

bRoadLannerは、最小限の設定でインターネットに接続出来るように構成されています。ここでは、PPPoEを利用したADSL接続サービスの他、通常のADSL接続サービスや、CATVインターネット接続サービスでbRoadLannerを使用する方法について説明します。

1. Webブラウザで設定画面を開きます。
2. [メインメニュー] またはWWW ブラウザの画面左側から、[簡単インターネット接続設定]の文字をクリックします。
メインメニューに[簡単インターネット接続設定]ページが表示されます。



3. ご利用のインターネット接続サービスのタイプを選択します。
メインメニューに3つの選択肢が表示されます。ご利用のインターネット接続サービスを選択してください。

通常のPPPoE接続

NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「Single」サービス、名古屋めたりっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインターネット接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。

こちらの場合は「4. 通常のPPPoE接続」に進んでください。

CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス

CATVインターネット接続サービスや、PPPoEプロトコルを使用しないADSL接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。また、IPアドレスの取得にDHCPを使用するサービスの場合は、こちらから設定を行ってください。

こちらの場合は「4-5 CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス」に進んでください。

PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

PPPoE接続で複数のグローバルIPアドレスを使用するLAN型接続のサービスをご利用になる場合こちらを選択してください。

設定方法についてはBroadLannerのユーザーズマニュアルを参照してください。

4. 通常のPPPoE接続

[通常のPPPoE接続]では、PPPoE 方式を採用したADSL インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。

注意

PPPoE接続ではないADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[5. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]から設定を行ってください。

また、複数の固定グローバルIP アドレスが割り当てられるPPPoE インターネット接続サービスの場合は、[PPPoE 複数IPアドレス LAN型接続]から設定を行ってください。

メインメニューの[簡単インターネット接続設定]ページから [通常のPPPoE接続]を選択します。[通常のPPPoE接続]ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。



ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は「@」(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例:pci011@planexbrl.ne.jp

⚠ 注意

最大64文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても“ * ”(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例:rY0Co%Mtu

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールアドレスなど異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoE サービス名を、正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例:PPPServ

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

パソコン上でWWW ブラウザを起動した場合など、LAN 側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンス設定]-[PPPoE接続の診断]ページで手動接続しなければなりません。

自動切断

PPPoE でインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。"0 ~ 120"の範囲で指定できます。自動切断したくない場合は、この欄に"0"を入力してください。(工場出荷時の状態では「5」に設定されています。)

例: 3

IPアドレスの自動取得

IP アドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IP アドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「ルータIPアドレス」も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

ルータIPアドレス

IP アドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIP アドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 153.16.10.40

DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得する場合は「有効」、DNSサーバのIP アドレスが固定で指定されている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリDNSサーバ」も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

プライマリDNSサーバ

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 172.16.1.10

セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたセカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。

(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 172.16.1.11

MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Maximum Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1412)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

注意

MSS 値はインターネットスピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合でMSS 値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください。
「フレッツ・ADSL」の場合は、必ず1414以下の値でご使用ください。

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

本製品の再起動後にパソコンを再起動してください。再起動後にインターネットに接続できます。

注意

インターネットに正常にアクセス出来ない場合は、bRoadLannerのユーザーズマニュアルから付録A「トラブルシューティング」を参照してください。

以上で、設定は終了です。

5. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス

[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]では、通常のADSL/CATV インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。

注意

PPPoE 接続ADSL インターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続]から設定を行ってください。

メインメニューの[簡単インターネット接続設定]ページから[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]を選択します。[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。

The screenshot shows the 'bRoad Lanner smart Manager' web interface. The main heading is 'CATVインターネット接続の設定' (CATV Internet Connection Settings). Below this, there are several configuration sections:

- IP設定の自動取得(DHCP取得)**: A dropdown menu set to 'する' (Yes).
- WANIPアドレス**: A dropdown menu set to '0.0.0.0'.
- WANサブネットマスク**: Input fields for '255.255.255.0'.
- WANデフォルトゲートウェイ**: Input fields for '0.0.0.0'.
- DNSサーバ1アドレスの自動取得**: A dropdown menu set to '無知' (None).
- プライマリDNSサーバアドレス**: Input field for '0.0.0.0'.
- セカンダリDNSサーバアドレス**: Input field for '0.0.0.0'.
- ドメイン名**: Input field for '0.0.0.0'.
- ホスト名**: Input field for '0.0.0.0'.

At the bottom, there is a '適用' (Apply) button. The browser's address bar shows 'http://192.168.31'.

IP設定の自動取得(DHCP取得)

プロバイダからIP アドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」を、IP アドレスが固定で割り当てられる場合は「しない」を選択します。「しない」を選択の場合は以下の項目に関して設定してください。

(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

WAN 側IPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIP アドレスを入力してください。

(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 153.16.10.40

WAN 側サブネットマスク

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。

(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例: 255.255.255.240

WAN 側デフォルトゲートウェイ

IP アドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。

(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 153.16.10.36

ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。

ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、LAN 上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIP アドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。

プロバイダからドメイン名を指定されている場合は、指定されたドメイン名を入力してください。

(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例: Planex.com

ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。

(工場出荷時の状態では「brl04a」に設定されています。)

例: Mymachine

DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得する場合は「有効」、DNSサーバのIPアドレスが固定で指定されている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリDNSサーバ」も設定してください。
(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

プライマリDNSサーバ

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.10

セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたセカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。
(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.11

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)
本製品の再起動後にパソコンを再起動してください。再起動後にインターネットに接続できます。

注意

インターネットに正常にアクセス出来ない場合は、bRoadLannerのユーザーズマニュアルから付録A「トラブルシューティング」を参照してください。
本正否には、このほか、DHCPサーバ、ローカルサーバ機能、バーチャルコンピュータ機能、IPフィルタリングの、より、高度な設定を行うことが可能です。これらの設定方法については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

以上で、設定は終了です。

<http://www.planex.co.jp/>

●設定情報ファイルの読み込み

ボックスに読み込ませたい設定ファイルをフルパスで指定します。また、[参照] ボタンを押すとファイルの選択画面になります。読み込ませたいファイルを選択して[開く] ボタンを押してください。ファイルがフルパスで入力されます。ファイルを指定したら、[設定情報の読み込み] ボタンを押してください。設定ファイルが読み込まれ、再起動します。

注意

設定情報を読み込ませると自動的に再起動します。LAN側IPアドレスやインターネット設定もすべて読み込まれた設定ファイルの情報に変わります。アクセスするコンピュータの設定を読み込ませた設定情報に合わせてください。本製品のファームウェアのアップデートを行った場合、前のバージョンのファームウェアで保存した設定情報の読み込みはできない場合があります。

●設定情報の保存

[設定情報の保存] ボタンを押してください。ファイルのダウンロードウィンドウが表示されますので、この「ファイルをディスクに保存する」を選択して、[OK] ボタンを押してください。「保存する場所」と「ファイル名」を指定するウィンドウが開きますので、それぞれ指定して、[保存] ボタンを押してください。設定情報ファイルが保存されます。

■ファームウェアのアップデート

ここでは本製品のファームウェアのアップデートを行えます。

Webブラウザの画面左側から、[ファームウェアのアップデート]の文字をクリックします。メインメニューに[ファームウェアのアップデート] ページが表示されます。



●ファームウェアのアップデート

ボックスに読み込ませたいファームウェアをフルパスで指定します。また、[参照] ボタンを押すとファイルの選択画面になります。ファームウェアを選択して[開く] ボタンを押してください。ファームウェアがフルパスで入力されます。ファームウェアを指定したら、[アップデート] ボタンを押してください。ファームウェアが読み込まれ、再起動します。

注意

ファームウェアの書き換え作業中は、Statusランプが点滅します。Statusランプが点滅している間は、本製品およびコンピュータの電源を絶対に切らないでください。ファームウェアの書き換えに失敗し、復旧不能となる場合があります。ファームウェアのアップデートに失敗するとStatusLEDが点滅し続けます。この場合は本製品の電源を切ったり、再起動を行ったりせずにユーザーズマニュアル付録Bの手順でファームウェアのアップデートを再度試みてください。それでもファームウェアのアップデートが成功しない場合は、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

最新のファームウェア情報につきましては、弊社ホームページ (<http://www.planex.co.jp/>) をご覧ください。